

報道関係者各位

平成 23 年 9 月 5 日
一般財団法人東京マラソン財団



東京マラソン 2012 チャリティ“つなぐ” チャリティランナー申込み状況について

一般財団法人東京マラソン財団（東京都江東区、理事長：帖佐寛章）が実施する、『東京マラソン 2012 チャリティ“つなぐ”』について、寄付金とチャリティランナーを募集しています。
現在のチャリティランナーの申込み状況について、下記の通りお知らせいたします。

9 月 5 日(月) 10:00 現在

チャリティランナー申込人数： 516 人/定員 3,000 人(先着)

◆ 寄付金及びチャリティランナーは、下記サイトにて最長 2011 年 11 月 30 日(水)17 時まで(先着順)受付けています。

・東京マラソン公式ウェブサイト <http://www.tokyo42195.org/>
・ゼビオ株式会社ウェブサイト <http://www1.xebio.co.jp/>

詳しくは「東京マラソン 2012」公式 HP をご参照ください。

【参考資料】

チャリティランナー申込み者のコメント抜粋

■東京都 30代男性

「昨年は抽選にもれたためのチャリティ参加でしたが、チャリティ参加の意義を十分に感じられた前大会だったので、震災後ということもあり、今年は最初からチャリティ参加を希望させていただきました。」

■神奈川県 50代男性

「これまで海外のマラソンを含めて10回以上フルマラソンを走りましたが、東京マラソンはその運営、応援とも最高のマラソン大会だと思います。東京マラソンと寄付が同時に申し込めるなんて、私にとってまさに一石二鳥です。」

■栃木県 50代男性

「東日本大震災後の4月、石巻市での泥かき出しボランティアに参加しました。初めてのボランティア参加でしたが、見渡す限りの風景、色、臭い、物、そして人に圧倒され、自分でできることを少しずつでもやらなければと言う、日本人としての義務感みたいなものに、突き動かされました。」

■神奈川県 50代男性

「私の実家も中越地震で崩壊してしまいました。その際も、世界中の温かい支援で立ち直ることができました。その御恩と感謝を絶対に忘れません。」

■東京都 30代女性

「私は看護師で、夫と共に命の現場の最前線に立っております。そんな私ですが、今回は走ることで難病と闘っている子どもたちやご家族に勇気を与えたいと思ってます。」

■東京都 50代男性

「前回、チャリティランナーの想いを聞き、また、チャリティが大会直後の東日本大震災に寄付されたことを聞き、チャリティランナーとして参加することを決意。3月から走った距離分のマラソン貯金をしてきました。各種支援に微力ながら役立てればと思います。」

■東京都 60代男性

「生まれ育った美しい東北地方が、力強く再建してほしい。宮城の活気ある漁港や、福島の美しい自然が蘇ってほしい。被災地の方々が少しでも元気を出せるように。今年で62歳！フルマラソン完走目指してがんばります！」

■北海道 40代男性

「以前から、わずかな額ですが、いくつかの支援先へ寄付を続けてきました。大好きなマラソンを通じての寄付ができることを嬉しく思います。2歳になる子の父親として、難病と闘う子どもたちへの支援を選択しました。」

■福島県 50代男性

「震災により、それまでの価値観が一変しました。医師として、被災地の診療にボランティアとして参加し、震災復興や医療に貢献したい気持ちが強まりました。同時に、50歳を超えた自分の限界に挑んでみたい気持ちもあり、参加を希望します。」